

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センターの 健診を受診された方、およびご家族の方へ

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野では、聖路加国際病院と共同で、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行なっています。非アルコール性脂肪性肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease : NAFLD) は、肝臓に脂肪が蓄積する病気で、肝炎や肝硬変の原因や、心血管疾患との関連があることから重要な病気と考えられています。NAFLD は肥満の方だけでなく、非肥満の方にも起こることが注目されていますが、どのようなリスク因子をもった人がどのぐらい NAFLD を発症しやすいかは明らかになっていません。

【研究課題】

健診データを用いた非肥満者における NAFLD 発症の臨床予測モデルの構築と評価
(審査番号 2022177NI)

【研究機関及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野

研究責任者 東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 教授 松山裕

担当業務 研究計画立案・データ解析・論文作成

【共同研究機関】

研究機関 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター

研究責任者 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター 木村武志

担当業務 データ収集・匿名化・研究助言・論文作成協力

この研究に利用する資料・情報は共同研究機関の範囲のみで利用されます。

【研究期間】

承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日

【対象となる方】

2008 年 1 月 1 日 ～ 2018 年 12 月 31 日の間に聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診を受診した方です。

【研究の目的】

本研究では、非肥満者の非アルコール性脂肪性肝疾患（non-alcoholic fatty liver disease : NAFLD）の発症を精度高く予測し、予防や早期発見につなげることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、これまでの診療でカルテに記載されている血液検査や尿検査結果、画像検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診データのうち、研究対象となるデータを聖路加国際大学学術情報センターの実務者が抽出、匿名化し、USB メモリにデータを移行します。この USB メモリから、直ちに東京大学大学院生物統計学分野のデータ解析室に移行します。このデータ解析室はインターネット回線から隔離された、施錠可能な専用のデータ解析室です。データと研究の対象の方との対応表は、聖路加国際病院の研究責任者が管理・保管します。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される資料や情報・データ等は、外部に漏洩することのないよう、厳重に取り扱う必要があります。取得した血液検査や尿検査結果、画像検査などのデータは、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、かわりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で施錠可能な専用のデータ解析室で厳重に保管します。データと研究対象の方の対応表は、聖路加国際病院の研究責任者が厳重に管理・保管を行います。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。この研究に関する費用は東京大学大学院医学系研究科生物統計学分野の運営交付金から支出されています。本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。尚あなたへの謝金はございません。

この研究について、分からないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたらお気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者： 松山裕

連絡担当者： 深溝快志

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学/疫学・予防保健学教室
電話： 03-5841-3250 (内線：23520)